

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	福知山保育所	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成 24 年 2 月 20 日

総 評	<p>昭和 35 年に福知山鉄道管理局より国鉄職員子弟の乳児保育施設設置要望を受け、鉄道弘済会が昭和 39 年に設立した保育所です。</p> <p>現在は定員 90 名で 0 歳児から就学前までの乳幼児の保育を実施しています。「一人ひとりの子どもを大切にし、保護者や地域社会から信頼され、選ばれる保育所を目指します。」の理念にあるように、鉄道弘済会の培ってきた福祉事業におけるノウハウを活かし、保護者や地域の子育て家庭から信頼される園運営を実践しています。</p> <p>管理者は、園児の安全・安心は職員の気持ちが安定してこそ守られるという考えのもと、就業状況の改善、保育内容全体に係る規程・マニュアル等の整備、職員間の連携充実に努めています。そうした取り組みが、園全体の信頼感に繋がっています。</p> <p>職員自らが保育内容の質向上に積極的に取り組む風土があり、子どもたちの落ち着いた様子からも、園児、保護者、職員のあたたかな関係が伺えました。</p> <p>一時保育や園庭開放、子育て講座などの未就園児に対する事業も実施しており、地域の子育て家庭を支える施設として、その役割を担っています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道弘済会規程、福知山保育所管理規程、保育に係るマニュアル関係がしっかりと整備されており、それが職員間で共有されています。 ・ 「GOGO KAIZEN制度」として、改善アイデアを奨励し促進する制度を設け、職員自ら保育が効率的に実施できるよう改善に努めており、園内のいたるところにその効果が確認できます。 ・ 鉄道弘済会の各保育所でテーマに沿った保育事例研究の発表や、西日本にある保育所同士で、「助け合い交流研修」として会議を開き、活動内容の共有と、環境の整備に努めています。 ・ 園長を中心として、安全管理に積極的に取り組んでおり、園内研修を独自で実施し、安全に対する意識向上に努めています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方を明文化されるとなお良いでしょう。 ・ 家庭訪問、個人懇談、クラス懇談会を各年 1 回実施しています。その内容は、記録されていますが、今後は記録内容にばらつきが生じないように、ガイドライン等の基準を明確にされるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	福知山保育所
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育教会
訪問調査日	2012年2月20日（月）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・鉄道弘済会として全国共通の保育理念があり、その理念に沿って福知山保育所独自の基本方針・保育目標が確立されています。その内容は、要覧・園のしおり・園内掲示・入園説明会などで周知に努めています。保護者には、入園説明会後アンケートを実施し、その内容が周知されているか確認しています。

・保育課程は理念・基本方針に基づき編成されています。行事ごとに実施する保護者アンケートの意見を分析し、その内容に反映させています。保育課程は各保育室に掲示し、保護者や各関係者への周知に努めています。また、内容をどの程度把握されているか保護者にアンケートを実施し、結果に対する返答を掲示し説明しています。

・長期・短期の指導計画は、毎月反省を行い、次の計画に活かしています。週の保育予定表を各保育室に掲示し、保護者に周知しています。

・園長・主任が、保育内容から就業内容まで幅広く指導・ルール整備に努め、園児・保護者等の利用者、職員それぞれが安心出来る環境整備に努めています。

・鉄道弘済会規程、福知山保育所管理規程が整備されており、それぞれ職員がいつでも閲覧できるよう事務室に設置されています。また「GOGO KAIZEN 制度」として、改善アイデアを奨励し促進する制度を設け、職員自ら保育が効率的に実施できるよう改善に努めており(平成22年度 83件改善)、園内のいたるところにその効果が確認できます。また、必要に応じてIT化を促進し、運営から記録・管理まで業務の効率化に努めています。光熱水費などはグラフを掲示し、節減に取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	B
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

【自由記述欄】

- ・必要な人材に関する体制は、保育所の要望を考慮した上で法人本部で決定しています。今後は、必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方を明文化するなど、確立されるなどおおいでしょう。
- ・管理者は、職員の就業状況の把握に努め、有給休暇の取得や残業の無い環境を整備しています。また、鉄道弘済会共済組合制度が整備され、職員に対する福利厚生を充実させています。
- ・研修に対する基本姿勢が明記されており、それに基づき個別の研修計画を策定しています。また、鉄道弘済会の各保育所でテーマに沿った保育事例研究の発表を行い、保育内容の質向上に努めています。西日本にある法人内の保育所同士では、「助け合い交流研修」として研修会を開き、活動内容を共有し、お互いに研鑽し合える環境を整備しています。
- ・毎週の園庭開放、子育て講演会の開催など、地域の子育て家庭に対して、施設として還元しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

- ・個人情報に対する規程・マニュアルを整備し、書類の管理等も管理台帳を作成しています。
- ・毎年実施する利用者アンケートや、行事ごとに実施する行事アンケートの結果を分析し、保育内容に反映させています。また、アンケートに記入された保護者からの要望に対して、園として考えや対応内容、解決結果を書面でまとめ、保護者に配布しています。
- ・定期的に第三者評価を受けて、運営内容の改善に役立っています。毎年、個々の職員による「自己申告書」の作成が実施され、自己評価だけでなく3つの自己目標を設定しています。その目標に対してどのように取り組み、達成出来たかを確認し、職員の資質向上に努めています。
- ・ケース会議を随時開催し、子ども一人ひとりの発達状況や、個別援助を必要とする情報を職員間で共有しています。
- ・入園説明会では保育理念や保育方針などを中心に保育内容に対する説明を実施し、説明後に同意書に署名・捺印をしてもらっています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・内科健診、歯科健診前には保護者から気になる事などを書面で提出してもらい、医師に質問するようにしています。健診結果においては、健診後に医師とカンファレンスを行い、その内容を保育に反映させています。

・園から徒歩30分のところに園管理の畑(100㎡)があり、種まきから収穫までを、園児が体験出来るようにしています。職員で農園を管理し、実体験を伴った食育が行えるようにしています。クッキング保育を実施し、畑で収穫した野菜などを材料として活用しています。

・保護者向けの試食会を開催しており、年に1回は試食会に参加してもらえるよう配慮しています。日々の給食の材料を展示し、食材に興味を持てるよう配慮しています。

・保育室や園内の環境に対し、「GOGO KAIZEN制度」を有効に活用し、職員が主体となって保育環境の改善に努めていることが伺えます。壁面には、子どもたちの造形・絵画作品の掲示や、職員による飾りが施されています。

・保育室やホールはパーテーションや可動式ロッカー、組立式舞台を配置し保育内容に応じて、色々な環境構成が出来るよう工夫しています。

・3歳以上児は、個別の道具箱があり、自由にはさみやのりなどを使い製作などを楽しんでいます。絵画などの造形活動、鍵盤ハーモニカや合唱など表現活動が体験できるよう取り組んでいます。

・0～1歳児の保育室は床暖房を設置し、畳やカーペットのコーナーを設け、家庭的な環境で過ごせるよう配慮しています。SIDSに対する午睡チェックを5分ごとに実施しています。

・延長時の保育士への引継ぎ事項は、登降園児連絡票で適切に実施されています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・家庭訪問、個人懇談、クラス懇談会をそれぞれ年1回実施しています。その内容は、記録されています。今後は、記録内容にばらつきが生じないように、ガイドライン等の基準を明確にされるとなおいでしょう。

・保育参観、運動会、餅つき会、親子遠足、夕涼み会などの行事があり、保護者と保育内容について共通理解が得られるよう取り組んでいます。

・一時保育専用の保育室があり、専任の職員が対応しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

・食中毒や感染症、安全管理などのマニュアルが整備されており、マニュアル綴りを各保育室に設置し、職員間でその内容を共有しています。事故報告書や安全マップを作成し、事故予防に努めています。

・園長を中心として、安全管理に積極的に取り組んでおり、園内研修を実施し、安全に対する意識向上に努めています。

・各保育室には避難経路を掲示し、周知に努めています。